

## “未来へのバイオ技術”勉強会

### 「AI はキーテクノロジーとなるか？『医薬品・医療業界の知財最前線と事例報告』」

開催日時：2019年11月21日（木） 15:00～17:30

会場：（一財）バイオインダストリー協会

参加人数：41名

今林広樹氏（EAGLYS(株) CEO）には、「データ資産を、安全にデータ分析・AI構築・運用する」と題して、知財上の課題・可能性・リスクなどについて事例報告をしていただいた。「秘密計算」という、初めて聞く方も多かった概念について学ぶことができ、海外のAI企業が、なぜ医療情報を暗号化しているのか、腑に落ちた、との声も寄せられた。

クラウド時代のデータ・セキュリティをガードしつつも、ビジネスをきちんと成立させることの大切さについて、学ぶことができた、との声も聞かれた。

Morag MacDonald氏（Bird&Bird 知財部門共同代表）には「医薬品業界の知財最前線：欧米の現状」と題してご講演いただいた。AI、データのオーナーシップなどデータに関するグローバルな法的考え方についてお話しいただいた。誰が何の目的でデータを収集し、そのデータをどう使うか、AIモデルの信頼性について誰が責任を取るのか、オープンイノベーションのためには、どのような構造化が重要か、色々と考えさせられる講演であった。

パネルディスカッションでは、今林氏、Morag MacDonald氏および Edoardo Monopoli氏（OXYGY CEO）と、モデレーターを務めた太田氏の間で、医療情報の暗号化とセキュリティを中心に総合的討論を展開された。

同時通訳のシステムをご用意いただき、同時通訳のお二人と、通訳コーディネーターの方にも大変お世話になった。  
（担当：岸本、矢田）



（写真は上段左から、太田信之氏、今林広樹氏、Morag MacDonald氏、  
下段左から、パネルディスカッションの様子、会場風景）